

令和7年度 鹿児島大学大学院臨床心理学研究科 臨床心理学専攻入学試験口述試験受験者心得

【受験上の注意】

1. 受験票を紛失、または忘れた場合には、控室への入室開始時刻前であれば、試験場本部に行き、受験票の再交付を受けること。入室開始時刻を過ぎている場合は、控室に入室後、速やかに控室監督者に申し出る事。
2. 口述試験は、第1口述試験室及び第2口述試験室に分けて実施する。一人あたり、大体10分から15分を目安に口述試験を行う。
3. 口述試験室には、誘導係が控室から案内する。
4. 口述試験室には、全ての荷物を持参して臨むこと。その際、電子辞書、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、ICレコーダー等の電子機器類は、会場に入る前にアラーム等の設定を解除した上で、必ず電源を切って、かばん等に入れること。
5. 口述試験室に着いたら、指定の椅子にかけて呼ばれるのを待つこと。
6. 入室したら、受験番号・氏名を名乗って椅子にかけること。
7. 口述試験が終了したら、入試の公平性を期すため、控室には戻らず、そのまま帰途につくこと。また、法文学部1号館・2号館・3号館ならびに総合教育研究棟にも立ち寄らないこと。

【受験者控室（法文学部1号館2階201）】

午前の部の受験者は、9時30分より控室に入室できるので、9時45分までに控室に入室し、待機すること。9時45分に控室に入室していない場合は口述試験の欠席となる。

午後の部の受験者は、12時30分より控室に入室できるので、12時45分までに控室に入室し、待機すること。12時45分に控室に入室していない場合は口述試験の欠席となる。

いずれも控室での私語は慎むこと。

電子辞書、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、ICレコーダー等の電子機器類は、控室に入る前にアラーム等の設定を解除した上で、必ず電源を切って、かばん等に入れること。

口述試験時間中の発病等やむを得ない場合には、申し出ること。正当な理由なく、呼ばれた際に不在の場合は不合格となることがある。

【合格者発表 令和6年12月10日（火）10時（予定）】

総合教育研究棟正面玄関に掲示するとともに、合格者には、本人あて合格通知を送付する。また、本研究科ホームページ入試情報ページ（https://cp.leh.kagoshima-u.ac.jp/e_info/）にも合格者の受験番号を掲載する。なお、電話等による照会には、一切応じない。

